託された未来をひらく
三井住友トラストグループ

2025 年5月 12 日

各 位

三井住友信託銀行株式会社

京浜急行電鉄株式会社との私募 REIT 組成推進について

三井住友信託銀行株式会社（取締役社長：大山　一也、以下「当社」）は、京浜急行電鉄株式会社（取締役社長：川俣　幸宏、以下「京急電鉄」）と相互に協力して私募 REIT の組成を推進する基本協定書（以下、「本協定」）を締結しましたのでお知らせします。

1. 本取り組みの概要

本協定では、当社の不動産仲介・投資・運用・カストディ等の不動産に対する幅広い知見と、京急電鉄が開発・保有する不動産および京急電鉄の不動産管理運営ノウハウ等を活かし、品川・羽田・横浜の「成長トライアングルゾーン」を中心とした物件を長期的に安定運用する総合型の私募REITの組成に向けて、協議、協力を進めていきます。具体的には、京急電鉄が昨年7月に設立した京急アセットマネジメント株式会社（取締役社長：芝田　知広）に対する出資や人材派遣の検討などの体制構築を行い、将来的に1,000 億円超の資産運用残高を持つ私募 REIT 組成を目指します。

2. 背景

三井住友トラストグループは、「託された未来をひらく」をパーパスとして掲げ、幅広い信託機能を活用して資金・資産・資本の好循環を実現し、社会の新たな価値の創出に取り組んでいます。また、資産運用ビジネスでは、政府が掲げる「資産運用立国」の実現にも貢献すべく、幅広い投資家への多様な投資機会の提供に向け、多様で実力ある運用会社とパートナー化を進めており、不動産・インフラをはじめとするプライベートアセット領域を強化しています。特に不動産領域においては、法人・不動産事業で長年培った専門的かつ多様な不動産ビジネスに係る知見を活用し、グループ関係会社の三井住友トラスト不動産投資顧問株式会社と一体となった資産運用ビジネスを行っております。

京急電鉄は、京急グループの長期ビジョン「移動」と「まち創造」2つのプラットフォームが織りなす相互価値共創のスパイラルアップによる持続的に発展する沿線の実現に向けて、不動産事業の変革、不動産回転型ビジネスを推進しています。

かかる中、当社は京急電鉄との本協定を通じ、双方の有する強みを活かした私募 REIT の組成を推進していくこととしました。中長期的に安定した不動産投資機会を投資家へ提供することで、資金・資産・資本の好循環を促進していきます。

（参考）

1．京浜急行電鉄株式会社概要（2025 年3月 31 日時点）

会社名	京浜急行電鉄株式会社	
所在地	神奈川県横浜市西区高島1丁目2番8号	
代表者	取締役社長　川俣　幸宏	
資本金	437 億円	
設立	1948 年6月1日	

2．京急アセットマネジメント株式会社概要（2025 年3月 31 日時点）

会社名	京急アセットマネジメント株式会社	
所在地	東京都千代田区神田錦町3丁目6番地	
代表者	取締役社長　芝田　知広	
資本金	98 百万円	
設立	2024 年7月1日	

以 上